

坂の上通信

平成二十九年六月二十三日
広島市立美鈴が丘高等学校
新聞文芸部（四〇三演習室）

第29回文化祭開催

6月17日土曜日、晴天のもと美高文化祭の一般公開が行われた。昨年同様到大勢の来校者でにぎわい、調べではその人数は1173名にのぼる。新聞文芸部も展示発表で忙しく活動したが、平行してクラスや部活動の取材も行った。今年の美高の文化祭の様子をレポートする。

まずはクラス展示の個性にあふれ、例年と同じように盛況で、行



3年生の食品バザー。どのクラスも盛況だった

献血への協力 63名

食堂前には献血車が停まっており、例年どおり献血の呼びかけが行われていた。

今年は1年2組がクラスの取組として協力していた。看板を持ち、63名が献血を行った。

あるいは着ぐるみを着て校内を歩き、声を出して献血への協力を呼



献血の協力を呼びかけた1年2組

には、ぜひ次の機会に協力してもらいたい。

3年生は、団子やアイスなど、手軽な食品を販売したクラスが多かった。どのクラスも盛況で、午前中に完売したクラスもあった。購入者の名前をアイスの袋に書くという、某有名コーヒー店を思わせるような工夫も見られた。今年は、テレビからヒントを得たものや、流行に関連づけたものが多かった。

部活動の展示

どの文化系部も力作揃いだった。301演習室で展示を行った美術部にも、大勢の人が訪れていた。

特に記者の目を引いたのは、2年生の田端君の作品だ。この作品では、紙やダンボールを使ってゴジラや恐竜を立体的に、細かく忠実に再現していた。

曲がっている背中を表現するために紙を何枚も重ねたり、爪や牙などの先端をきっちり尖らせたりなど、相当な時間と技術をそい

だことがうかがえる、見事な作品だった。毎年恒例の物品販売として、缶バッジやうちわも販売しており、このデザインは全て美



田端君の作品。細部まで精巧に作られている

お詫び

第54号・ESS紹介文の中で「バクチーノ高校」とありましたが、「クパチーノ高校」の誤りでした。お詫びして訂正します。

今年も晴れやかに 鬼城太鼓演奏

文化祭恒例の鬼城太鼓。今回も迫力ある演奏が行われた。

午前10時から始まった太鼓の演奏は約30分間続き、校内を活気に満ちた。演奏には相当な体力を必要とするのだが、日々



鳴り響く太鼓の音

吹奏楽部 新境地を開く

金・土の両日とも、講堂では演劇部や吹奏楽部などによるステージ発表が行われた。

初日の最後を飾った吹奏楽部は、今年新しい取組を行った。客席の全校生徒にペンライトのようなものを配り、ただ聴くだけでなく、



吹奏楽部の演奏で、大いに盛り上がる講堂内

美・鈴・鈴・鈴

今年の文化祭も各クラスや文化系部の活躍により盛況に終わった。まずは各所の努力をたたえたい。▼ところで

美高の文化祭では、バザーやお化け屋敷、縁日などが例年定番の展示となっている。定番で占められるということ

とは、裏を返せば一風変わった展示はあまり見受けられない、というところだ。▼では、他校ではどのような展示があるのだろうか。過去の例だが、静岡県金谷高校のあるクラスでは、教室内で実際に乗ることができ

るコースターを作っていた。また遊園地にあるコーヒーカープを作った学校もあるようだ。動力は人力であるが、

編集後記

(吉田峻)

三年生の記者にとつては、高校生活最後の文化祭だった。クラスもクラブも準備を頑張っていたので、思い出に残る文化祭になった。